

天に舞い
地を駆け巡りて—

石見神楽

第7弾

石見神楽
亀山社中

島根県
浜田市

東京公演
2023



八衢

大蛇

令和5年

12月2日(土)

台東区立浅草公会堂

東京都台東区浅草1-38-6 Tel.03-3844-7491

1部 開場10:30 開演11:00

2部 開場15:00 開演15:30

※各部休憩があります

石見神楽の鬼 撮影会

12月1日(金) 浅草公会堂内にて 無料

詳細は
こちら▶



前売券 / S席 ¥6,000 (当日¥6,500)

全席指定 / A席 ¥5,000 (当日¥5,500)

税込 / B席 ¥4,000 (当日¥4,500)

※当日券発売あり

※3歳未満は無料(ただし膝上での観覧に限る)

一般発売 2023.9月1日(金)

●浅草公会堂(窓口のみ・予約不可)
管理事務所で取り扱い 9:00~17:00

●チケットぴあ(セブン-イレブン)
<https://pia.jp/> (Pコード:519-784)

●ローソンチケット(ローソン・ミニストップ店内 Loppi)
<https://l-tike.com/> (Lコード:32876) Tel.0570-000-407
(オペレーター/10:00~18:00 年中無休)

島根県の
物産販売
あり



語りへ
鈴木 拡樹

司会 | 源馬ちか子

華麗にして勇壮な舞の世界へ

— 石見神楽 亀山社中 —

お待たせしました! 4年ぶりの東京公演
必見! 亀山社中渾身の新作「安倍晴明入唐伝」
 若手大活躍の「鈴鹿山」

重厚感、迫力のある演目をお楽しみに!

鳥根県西部「石見地方」に伝わる石見神楽。その中でも異彩を放つ石見神楽亀山社中の舞。その躍動感あふれる圧巻の舞台には、誰もが驚き心を奪われることでしょう。

あなたも、石見神楽亀山社中の神楽舞をぜひご堪能ください。

- 1部 ① 儀式舞 ② 安倍晴明入唐伝 ③ 塵輪 ④ 恵比須 ⑤ 大蛇
- 2部 ① 儀式舞 ② 鈴鹿山 ③ 大蛇 ④ 八衢 ⑤ 頼政

演目解説



平安時代、陰陽師安倍晴明は帝の勅命を受け大陸に渡り、陰陽道を極める伯道上人に師事し、奥義を得る。晴明に恨みを持つ蘆屋道満は、謀略を駆使し奥義書を盗み、晴明の命を奪ってしまう。伯道上人の術により蘇った晴明は、再び道満と対決し見事勝利する。



大国主命の国譲りに続く物語。八衢とは天上での天降りの途中で、道が多方面に分かれた所を指している。天孫邇々芸命が天降りされようとするとき、道をふさぐ神があったので、天宇津命に問わせると猿田彦神で、天孫を先導するために出迎えに来たと言う。



第14代天皇、帯中津日子命(仲哀天皇)が、異国より日本を我が物にせんと攻め来た数万騎の軍勢の頭、塵輪を天皇自ら家来の高麻呂を従え、天の鹿兒月、天の羽々矢をもって退治したという神楽である。



平安時代の末、近衛天皇は毎夜丑の刻になると、ものけに悩まされ、勅命を受けた源頼政は猪早太とともに東三条の森へ退治へ向かう。その正体は、頭は猿、体は牛、手足は虎、尾は蛇の姿をしたヌエだった。見事ヌエを退治した頼政は、天皇より剣を授けられる。



鳥根県美保関町、美保神社のご祭神で漁業、商業の祖神として崇拝される恵比須様が、美保の岬において鯛釣りを楽しむ様を舞ったものである。恵比須様は、大国主命の第一の皇子で、大変釣り好きな神様であったといわれている。



須佐之男命が、出雲の国斐の川にさしかかると、老夫婦に出会う。夫婦には八人の娘がいたが、毎年現れる大蛇に、娘をとられ、残る奇稲田姫もやがて大蛇にとられる運命にあるという。命は、老夫婦に毒酒を用意させ、それを飲み酔いふした大蛇を見事退治する。



平安初期、鈴鹿山の鬼が庶民を苦しめているの聞き、勅命により坂上田村麻呂が退治に向かった。里人の案内により鈴鹿山へ登り鬼神、大獄丸と対峙するが、秘術により悪戦苦闘するも見事討ち取る。都に戻った田村麻呂はその後の功績により征夷大將軍となった。



令和5年 12月2日(土) 台東区立浅草公会堂
 東京都台東区浅草1-38-6 TEL.03-3844-7491

1部 開場 10:30 開演 11:00 出 石見神楽亀山社中
 2部 開場 15:00 開演 15:30 演 〔鳥根県浜田市〕

主催 / 石見神楽東京公演首都圏実行委員会 Yumi Shimokawara
 【公式サイト <http://love-iwamikagura.com>】 石見神楽応援団 in 首都圏